

メキシコ政治情勢（6月）

〔概要〕

【内政】

- 4日、メキシコ州で知事選挙、並びにコアウイラ州で知事選挙及び州議会議員選挙が実施された。今次選挙の結果、全国32州中23州の知事が与党系知事（うち21州の知事が国家再生運動（MORENA）の知事）となった。
- 6日、エブラル外務大臣は、記者会見を行い、2024年大統領選挙に向けて辞任する意向を表明した。
- 11日、与党MORENAの全国評議会が開催され、2024年大統領選挙に向けた候補者の選出プロセスが決定された。
- 13日、ロペス・オブラドール大統領は、12日に辞任したエブラル前外相の後任にバルセナ駐チリ大使を任命するとの人事を発表した。
- 14日付当地エル・ユニベルサル紙及び15日付当地エル・フィナンシエロ紙は、シェインバウム・メキシコ市長の支持率等に係る世論調査結果を発表した。
- 19日、「ロ」大統領は、MORENAの大統領候補選出プロセスに参加すべく辞任したロペス前内務大臣の後任にアルカルデ労働社会保障大臣を任命するとの人事を発表した。
- 20日、「ロ」大統領は、「ア」労働社会保障大臣（次期内務大臣）の後任にボラーニョス労働社会保障省雇用・労働生産性担当次官を任命するとの人事を発表した。
- 22日、最高裁は、選挙制度改革に係る改正一般諸法のうち、3月に官報に掲載された部分を違憲と判断した。
- 26日、野党連合（PRI・PAN・PRD）は2024年大統領選挙に向けた候補者の選出方法を発表した。

【外交】

- 15日、ロペス・オブラドール大統領は、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長と会談を行った。

【内政】

1 メキシコ州及びコアウイラ州知事選挙：結果概要

4日、メキシコ州で知事選挙、並びにコアウイラ州で知事選挙及び州議会議員選挙が実施された。5日午前時点での国家選挙機構（INE）の選挙暫定結果プログラム（PREP）発表に基づく結果概要は以下のとおり。

- (1) PREP発表に基づく結果概要（5日午前時点、開票率100%）
 - ア メキシコ州知事選挙
 - (ア) 投票率：49.9%

- (イ) 得票率（1位と2位の差：約8%）
 - ・ゴメス候補（MORENA、PT、PVEM）：52.6%
 - ・デルモラル候補（PRI、PAN、PRD）：44.3%

イ コアウイラ州知事選挙

- (ア) 投票率：55.9%
- (イ) 得票率（1位と2位の差：約35%）
 - ・ヒメネス候補（PRI、PAN、PRD）：56.9%
 - ・グアディアナ候補（MORENA）：21.5%
 - ・メヒア候補（PT）：13.3%
 - ・ペレス候補（PVEM他）：5.9%

ウ コアウイラ州議会議員選挙

- (ア) 投票率：39.4%
- (イ) 結果：PRI、PAN、PRDが16議席すべてを獲得（注：残り9議席は比例代表制によりMORENA含む他党に分配。

2 エブラル外相の辞意表明

エブラル外相は、記者会見を行い、2024年大統領選挙に向けて辞任する意向を表明した。同会見において「エ」外相は概要以下のとおり。

- (1) MORENAの結束のために取り組む。6月11日の大統領候補の選出方法を決定するMORENAの全国評議会会合に出席する。党員の合意の下、公平で透明性のある選出方法が決定されるよう追求する。
- (2) 候補者が現職を辞することは重要である。世論調査は、「誰に大統領になってほしいか」という唯一つの質問であることが理想的である。
- (3) 6月12日に外相の辞職願を提出する。

3 2024年大統領選挙：与党候補選出プロセスに係る決定事項

11日、与党・国家再生運動（MORENA）の全国評議会が開催され、2024年大統領選挙に向けた大統領候補の選出プロセスに係る決定が行われたところ、概要は以下のとおり。

- (1) MORENA全国評議会での決定事項概要
 - ア 立候補対象者及び要件（立候補者：与党及び連立政党で最大6名）
 - (ア) 与党国家再生運動（MORENA）：全国評議会から立候補を推薦された党員（以下2参照：党内からは被推薦者しかプロセスに参加できない）
 - (イ) 連立与党を構成する労働党（PT）及び緑の党（PVEM）：各党内で合意の上、各党から1名推薦（以下3参照）

(ウ) 大統領候補選出プロセスに立候補・登録する当日に、現職を辞任しなければならない。

イ 選出プロセスのスケジュール

- (ア) 候補者登録期間：6月12～16日
- (イ) 候補者登録・現職の辞職・休職届締切：6月16日
- (ウ) キャンペーン活動期間：6月19日～8月27日
- (エ) 世論調査実施期間：8月28日～9月3日
- (オ) 世論調査結果集計：9月4～6日
- (カ) 世論調査結果公表：9月6日

ウ 世論調査実施方法及びキャンペーン活動に関する合意事項

(ア) 世論調査実施方法

- ・世論調査実施主体：5者（世論調査委員会及び民間調査4社（各候補者が2社を提案し、世論調査委員会が抽選により4社を決定。））
- ・世論調査委員会及び民間調査会社による世論調査は同時に実施され、結果が一致しない場合は、3者または4者が1位とする候補が選出される。

(イ) キャンペーン活動に関する合意事項

- ・公的財源及び民間企業財源を使用した選挙キャンペーンの禁止。
- ・大統領及び閣僚、州知事、市長、連邦議員、党幹部等は特定の候補の支持を表明してはならない。

(2) MORENA全国評議会から立候補を推薦された党員

- ア ラウディア・シェインバウム・メキシコ市長
- イ マルセロ・エブラル外相
- ウ アダン・アウグスト・ロペス内相
- エ リカルド・モンレアル連邦上院政策調整委員長（MORENA会派長）

(3) 連立与党を構成するPT及びPVEMで立候補の可能性がある人物

- ア ヘラルド・フェルナンデス・ノローニャ連邦下院議員（PT所属）
- イ マヌエル・ベラスコ連邦上院議員（PVEM所属、チアパス州知事（休職中））

4 次期外相人事の発表

13日、ロペス・オブラドール大統領は、定例早朝記者会見において、12日に辞任したエブラル前外相の後任にアリシア・バルセナ駐チリ大使を任命するとの人事を発表した。

5 シェインバウム・メキシコ市長の支持率等：当地紙世論調査結果

14日付当地エル・ユニベルサル紙及び15日付当地エル・フィナンシエロ紙は、シェインバウム・メキシコ市長の支持率等に係る世論調査結果を発表したところ、概要以下のとおり。

(1) エル・ユニベルサル紙(14日付)

(6月8～11日に、メキシコ市の有権者1,200名を対象に訪問形式で実施。誤差±3.23%。)

ア ロペス・オブラドール大統領の取組を支持するか。

(ア) 支持する：66%(前回(4月、以下同じ)66%)

(イ) 支持しない：31%(前回31%)

イ 「シェ」市長の取組を支持するか。

(ア) 支持する：66%(前回64%)

(イ) 支持しない：28%(前回31%)

ウ 過去3名のメキシコ市長のうち、誰が最も良い市長であったか。

(ア) 「シェ」市長：58%

(イ) エブラル元市長：19%

(ウ) マンセラ元市長：16%

(2) エル・フィナンシエロ紙(15日付)

(6月9～10日に、メキシコ市内の有権者500名を対象に電話で調査を実施。誤差±4.4%。)

ア 「シェ」市長の取組を支持するか。

(ア) 支持する：54%(前回(4月、以下同じ)55%)

(イ) 支持しない：45%(前回43%)

イ 過去のメキシコ市長3名の退任時支持率

(注：(ア)及び(イ)は、それぞれ2005年7月、2012年12月のレフォルマ紙世論調査結果)

(ア) 「ロ」元市長：76%

(イ) エブラル元市長：63%

(ウ) 「シェ」市長：54%

ウ 「シェ」市長は、MORENAの大統領候補となるために現職を辞任すべきと思うか。

(ア) 思う：45%

(イ) 思わない：50%

エ 「シェ」市長がMORENAの大統領候補となった場合、彼女に投票するか。

(ア) 投票する：52%(前回(昨年11月、以下同じ)44%)

(イ) 投票しない：44%(前回50%)

オ メキシコ市内の主要な問題は何か。

(ア) 治安の悪さ：49%(前回(4月、以下同じ)38%)

(イ) 経済、失業、インフレ：21%(前回33%)

カ 各分野における「シェ」政権の取組を如何に評価するか。

(ア) 公共交通機関

- ・ とても良い、又は良い：45%（前回39%）
- ・ とても悪い、又は悪い：35%（前回34%）

(イ) メトロ

- ・ とても良い、又は良い：31%（前回29%）
- ・ とても悪い、又は悪い：48%（前回45%）

(ウ) 治安

- ・ とても良い、又は良い：28%（前回26%）
- ・ とても悪い、又は悪い：58%（前回53%）

(3) 経済

- ・ とても良い、又は良い：36%（前回33%）
- ・ とても悪い、又は悪い：48%（前回45%）

6 次期内務大臣人事の発表

19日、ロペス・オブラドール大統領は、MORENAの大統領候補選出プロセスに参加すべく辞任したロペス前内務大臣の後任にアルカルデ労働社会保障大臣を任命するとの人事を発表した。

7 次期労働社会保障大臣人事の発表

20日、ロペス・オブラドール大統領は、アルカルデ労働社会保障大臣（次期内務大臣）の後任にボラーニョス労働社会保障省雇用・労働生産性担当次官を任命するとの人事を発表した。

8 選挙制度改革：最高裁による違憲判断

(1) 22日、最高裁は、プレスリリースにおいて、立法手続に複数の重大な違反があるため、9票の賛成多数で、3月2日に公布された選挙制度改革に係る改正一般諸法を無効とした旨発表した。

(2) この決定に対して「ロ」大統領は、記者会見において、司法府による行政府の侵犯であると述べるとともに、大統領令をもって選挙制度改革を実施することは無く、（2024年の議会選挙後に）憲法改正案を議会に提出する、その頃には両院で憲法改正に必要な議席（2／3）を獲得していると期待している旨述べた。

9 野党連合、2024年大統領選挙の野党連合候補者の選出方法を発表

26日、野党連合（PRI・PAN・PRD）は2024年大統領選挙に向けた候補者の選出方法を発表したところ、国民行動党（PAN）のプレスリリース概要以下のとおり。

(1) PAN、制度的革命党(PRI)及び民主革命党(PRD)は、市民社会とともに、メキシコの民主主義と自由を守るための新たな段階を本日(26日)開始し、「メキシコのための幅広い戦線」(Frente Amplio por Mexico、FAM)を構築する。

(2) 第1段階は7月4日に開始され、FAMの全国責任者(注:実質的な野党連合大統領候補)になるために選挙に参加を希望する市民の登録が行われる。

(3) 登録期間が終了すると、登録された選挙参加者が発表され、第2段階に進む。第2段階では、選挙参加者はメキシコのビジョンを議論・検討する最初の大規模フォーラムに参加する。また、世論調査にも参加し、最も良い結果を出した3人は、プロセスの第3段階に最終候補者として進む。

(4) 第3段階では、候補者は5つの地域フォーラムに出席しなければならない。また、世論調査にも参加し、その結果は9月3日に発表される。世論調査と公開協議の最終結果が同じ価値で公表され、FAMの全国責任者の名前が発表される。

【外交】

1 ロペス・オブラドール大統領とフォン・デア・ライエン欧州委員長の会談

15日、ロペス・オブラドール大統領は、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長と会談を行った。欧州委員会委員長の訪墨は11年ぶり。「ロ」大統領及び「フォ」委員長は、不平等との闘い、貧困との闘い、人権、エネルギー移行、気候変動及び生物多様性の喪失との闘い、移民、保健、インフレ、食糧安全保障、国際法の擁護といった共通の優先事項及び課題を確認した。また、(墨EU)現代化されたグローバル協定案の重要性、及び年内の協定完了を目指し、交渉を加速させることにつき一致した。

(了)